

日刊 磐城時報 編輯部 磐城郡平町新屋町十四 印刷部 磐城郡平町新屋町十四 電話 磐城郡平町新屋町十四 廣告部 磐城郡平町新屋町十四 印刷部 磐城郡平町新屋町十四

炭礦に送電する會社に 競走表面化する

顧客入山炭礦を中心に 東電、日電の暗闘

炭礦に送電してゐる日立電力と東電との間に送電區域再分力會社の競争に止まらず日立電の競争が起つた。即ち入山炭力を供給してゐる植田水電の干渉は十數年來日立電力から四千五百キロ、平電力二千五百キロの供給を受けてゐるが、昭各入山炭礦送電の目的を以て新和八年十二月末右契約期限が満了された夏井川日立發電所の死了となるため東電電力内田支配活問題に關するのではこの人の暗闘となり入山炭礦を送電審査に對し慎重な態度を以て區域に獲得することに努め、過る。右につき縣當局は語る。一般調印を得たので縣を通じて遞信大臣に許可申請した。契約の條件は日立の一キロ一錢七厘に對し一錢五厘まで値下げしその代り四千キロの送電を五千キロまで増額することの二條件

鮫川疏水復活 工事繰上げ運動

二十六日總會を開き 常設委員を選任

石城郡鮫川沿岸農業水利事業第一年度まで五年間の経費事業で川疏水組合では二十六日午前十時、組合員は一日も早く工事から平町に於て總會を開き工事を希望し七年、八年、九年の事施行の常設委員を選任した上三ヶ年で完成するやう繰上げる各種の協議をなす筈であるが、事、而して工事は組合員負担と鮫川疏水の復活の計劃ではし組合員の負擔十萬二千三百七工費三十七万圓昭和七年から十二圓を幾分でも軽減し得るや

平町區長會

平町區長會 平町區長會は二十一日午後一時から町會議事室に開いたが、二十七區全區長出席左記事項について協議した。

- 一、行政區備付諸帳簿
- 一、法令通知の周知
- 一、町會議員選舉資格者
- 一、貧困者調査

苦境の小名濱町から 寄附半減を陳情

鮫川疏水復活の寄附金 組合側で拒絶

石城郡小名濱町高木助役は町議附を申出た爲組合は總會の決議をもつて採納したやうな譯で今になって寄附金に對して拒絶するから甚だしく呉れろとばかりの言ひがよすぎる。はあまり虫がよすぎる。就きさきに疏水組合へ二萬圓を寄附すると約束したのを一萬圓位に減額して貰ひ度ひたいと諒解を求めた、理由は

遊び廻る 借金で

小名濱町では築港豫算増額問題で縣より思はざる寄附を要求され悩まれている際だから如何に約束したとはいへ立場を諒解してもらひたいといふのであるが、一方鮫川疏水組合では、一方鮫川疏水組合では、小名濱町は疏水の復活を見れば水道の敷設も出来るとして面目一新する故是非うけてほしいと自ら進んで二萬圓の寄附

- 一、各種調査照會
- 一、十二月一日現在國富調査
- 一、納税改善
- 一、徴兵適齡者及就學兒童
- 一、道路溝渠増設使用
- 一、傳染病豫防
- 一、汚物掃除
- 一、戸籍寄留
- 一、労働登録者
- 一、夜警實施
- 一、新年祝賀會員勸誘
- 一、上水道

貧困者救済 助成會で

平町共済事業助成會では明日二十日午後七時から町役場に會合し年末貧困者救済方法を協議する。

木炭の價格上り 生産者一息つく

濱三郡木炭同業組合製炭業者一千四百余名の大半は従来の欠損

濱三郡木炭同業組合製炭業者一千四百余名の大半は従来の欠損から一時製炭を中止し匡救事業に従事するに至つたので需要期に入った最近漸やく品不足を生じ暴騰を續けてゐる。尚ほ平町市場相場左の如く去月中旬より倍償り十銭の高値である。 樽九八十銭、同割六十五銭 午後五時まで

ヤキモチを焼いて 娼妓を突き飛ばす

平町鎌田町四三番地自轉車修繕業の高齡で死亡した、の嗣子三(一九)が新聞の映畫女優募集廣告に應せんとして十四日夜兩名相談の時同署員がその不心得を諭して直に歸國せしめた。

労働者救済 湯本町で

湯本町會は二十五日開き一萬五千圓の巨事業として十月二十一日着工した停車場前道路外四線延長二千九米が一兩日中に竣工

三ヶ町村を悩ました 新川縣費支辨川編入まで

(其二) かくの如く新川の改修費に毎年莫大の費用を要するため組合員は漸やく將來を憂慮するに至り、昭和六年十月二十七日平町に於て水害豫防組合總會を開き善後策を協議した結果、平町吉田寅之輔氏が内郷村四家又一氏の賛成を得て建設した縣費支辨川に編入するやう運動する件が満場一致で可決され、間もなく開かれる縣會に右建議案を提出する事

女優に憧れ 娘同志が家出

十八日午後十時頃平待合室に停む二少女を平署員が怪しみ事情を聞くと右は盛岡市太田町雜貨商二見屋米川留次郎二女フサ(一八)同町勇藏二女石崎ツツカ

電話買受たし

希望者は本社へ 御問ひ合せを乞ふ

平町人事

出生 古銀治町九二齋藤正一 二女イサ 死亡 長橋町四一北海道旭川市宮下通一丁目渡邊孝(七)

渡邊翁逝く 草野

村大字泉崎渡邊彦治翁は八十四日着工した停車場前道路外四線延長二千九米が一兩日中に竣工

三ヶ町村を悩ました 新川縣費支辨川編入まで

かくの如く新川の改修費に毎年莫大の費用を要するため組合員は漸やく將來を憂慮するに至り、昭和六年十月二十七日平町に於て水害豫防組合總會を開き善後策を協議した結果、平町吉田寅之輔氏が内郷村四家又一氏の賛成を得て建設した縣費支辨川に編入するやう運動する件が満場一致で可決され、間もなく開かれる縣會に右建議案を提出する事

し一千名近くの労働者が再び路頭に迷ふので之が對策として七年度豫算を協議する。

十八日午後十時頃平待合室に停む二少女を平署員が怪しみ事情を聞くと右は盛岡市太田町雜貨商二見屋米川留次郎二女フサ(一八)同町勇藏二女石崎ツツカ

希望者は本社へ 御問ひ合せを乞ふ

出生 古銀治町九二齋藤正一 二女イサ 死亡 長橋町四一北海道旭川市宮下通一丁目渡邊孝(七)

湯本町會は二十五日開き一萬五千圓の巨事業として十月二十一日着工した停車場前道路外四線延長二千九米が一兩日中に竣工

村大字泉崎渡邊彦治翁は八十四日着工した停車場前道路外四線延長二千九米が一兩日中に竣工

かくの如く新川の改修費に毎年莫大の費用を要するため組合員は漸やく將來を憂慮するに至り、昭和六年十月二十七日平町に於て水害豫防組合總會を開き善後策を協議した結果、平町吉田寅之輔氏が内郷村四家又一氏の賛成を得て建設した縣費支辨川に編入するやう運動する件が満場一致で可決され、間もなく開かれる縣會に右建議案を提出する事

かくの如く新川の改修費に毎年莫大の費用を要するため組合員は漸やく將來を憂慮するに至り、昭和六年十月二十七日平町に於て水害豫防組合總會を開き善後策を協議した結果、平町吉田寅之輔氏が内郷村四家又一氏の賛成を得て建設した縣費支辨川に編入するやう運動する件が満場一致で可決され、間もなく開かれる縣會に右建議案を提出する事

平素の御愛顧に酬ゆる
謝恩奉仕大特價提供

例 吉 歳末奉仕大賣出し

二十三日・二十四日・二十五日・二十六日の五日間

例年御好評を戴く中野の歳末奉仕です
 騰勢の市價に逆行した獨特奉仕値段です
 品質を一層吟味した店內山積みの奉仕品
 此の際御贈答用品・防寒用具は……是非！

◎破格奉仕品

- 實用毛靴下 (三足) 一六 十 錢
- 純毛コットンシャツ 八 十 錢
- 最上メリヤスシャツ 十 十 錢
- 上等メリヤススボン下 四十 錢
- 純毛系上等チヨツキ 一 十 錢
- 本ネルウイシャツ 三 十 錢
- 純毛系都服巻 一 十 錢
- ハンヤニツ折お枕 七 十 錢
- 毛糸子供手袋 十 十 錢
- ラシヤベレ帽子 十 十 錢
- 奉仕白キヤラコ足袋 十 十 錢
- 奉仕女別珍足袋 十 十 錢

- ◎特選シヨール陳列特賣 一圓・二圓五十錢・二圓
- ◎優良防寒毛布特賣 綿上等品二枚綴キ一圓二十錢
- 一圓五十錢 三圓・純毛逸品同六圓より十八圓迄
- ◎毛糸セーター・チヨツキ・各毛糸製品
- 最安値仕入の豊富在庫品を獨特の非常廉價で奉仕
- ◎より良く・より安さ
- ◎御贈答用品と便利な商品券

◎中野洋品店

平町二丁目 電五三番

耳鼻咽喉科 專
氣管食道科 門

病室完備…自炊の便あり
 平町町南 大和田醫院
 電話一七〇番

本年掉尾を飾る大奉仕

平全町商店聯合各様デー
 外人舞踊と特作大掛壽公開
 お客様優待分は各商店にて無料で
 差上ます
 レビュウの精華・ジャズの權化



西歌ロシ
 ヤ美姫の
 肉體
 空中亂舞
 ゴールデン・スター
 舞踊團
 美姫ニーナ
 ヒアビツチ嬢
 肉體美ウイアー
 イネリー氏 一行來演

平館 電46

かまぼこ
 折詰仕出し

御惣菜用さつま揚 吉原揚

平町二丁目
 藤市蒲鉾店
 電話三〇五番

融通低利 蓄積安

三友無盡

許免臣大慈大

社會無信用本湯

香七四話電

胃腸 內科 專門

十二指 腸胃病

婦人病 淋病

皮膚病 專門

院醫科 腸胃病 胃性病 村松

【番七〇一話電】町南町平

許免臣大慈大 井石共榮

磐城無盡

誠意堅實

香七四話電

強壯殺菌劑
 精力増進劑

糖衣ニンニグ丸

二十四日分 二四〇
 二十八日分 二四〇

平町
山野邊藥局

東北六縣
 總發賣元

一 內科
難波醫院

醫學博士 難波 睦

平町大町新川端
 電話(五〇二番)

外科 專門

X光線科

上田 外科醫院

電話一 二九番

10日 検査機 體温計の検査日です

お宅の體温計は?

◎正確な體温計を御使用下さい
 ◎毎月十日の検査日御利用下さい

度量衡 指定販賣人 **西村屋藥局**

電三番

内科 小兒科 (入院應需)

花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町
 電話平國五〇七番